



Photostud

THE HOPEFUL STAKES

第42回 ホープフルステークス (GI)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 70,000,000円	28,000,000円	18,000,000円	11,000,000円	7,000,000円
付加賞 1,162,000円	332,000円	166,000円		



レース映像は
コチラでご覧

牡・牝 2歳 除未出走馬および未勝利馬

負担重量 馬齢重量

2025.12.27 中川 眞・良 芝2000×1 (国際) 指定

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m ²)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	④	ロブチエン	牡 2	56	松山弘平	2:01.0	6-7-7-7	34.5	51.2(-4)	19.8(7)	杉山晴紀(栗東)	115
2	⑪	フォルテアンジェロ	牡 2	56	T.マーカンド	3%	4-5-4-4	34.9	450(+2)	6.4(4)	上原佑紀(美浦)	113
3	⑯	アスクエジンバラ	牡 2	56	岩田康誠	%	5-6-6-4	34.9	456(-8)	32.9(9)	福永祐一(栗東)	112
4	②	アーレムアレス	牡 2	56	菱田裕二	1	9-9-10-10	34.5	494(+6)	16.0(6)	橋口慎介(栗東)	110
5	⑥	バドリナート	牡 2	56	坂井瑞星	ハナ	3-3-4-4	35.2	492(+4)	6.4(5)	松永幹夫(栗東)	110
6	⑯	オルフセン	牡 2	56	岩田望來	1/2	16-16-12-10	34.5	484(±0)	29.9(8)	斎藤 誠(美浦)	107
7	⑫	アンドゥーリル	牡 2	56	川田将雅	ハナ	6-3-2-2	35.5	460(-2)	3.5(1)	中内田充正(栗東)	107
8	③	ジャステインビスタ	牡 2	56	北村友一	%	12-13-12-13	34.6	516(+10)	4.6(2)	吉岡辰次(栗東)	106
9	⑦	テーオーライル	牡 2	56	横山史郎	%	1-1-1-1	36.0	486(-4)	87.8(3)	奥村 豊(栗東)	105
10	①	ノチェセラーダ	牡 2	56	A.ブッシュ	アタマ	6-7-7-7	35.3	470(+2)	37.9(0)	杉山佳明(栗東)	105
11	⑧	マテンロウゼ	牡 2	56	横山典弘	クビ	9-9-12-13	34.9	464(+2)	151.9(5)	松永幹夫(栗東)	104
12	⑯	ジネーキング	牡 2	56	斎藤 新	1	2-2-2-2	36.1	490(+12)	55.0(1)	斎藤 誠(美浦)	102
13	⑩	ワイナーズナイン	牡 2	56	西村淳也	1/4	14-13-12-13	35.3	512(+8)	62.0(2)	小栗 実(栗東)	100
14	⑯	ショウナンガルフ	牡 2	56	池添謙一	%	12-10-12-10	35.6	492(+20)	5.6(3)	須貝尚介(栗東)	99
15	⑯	ノーウェーマン	牡 2	56	木幡巧也	2%	14-13-12-16	35.7	490(±0)	279.1(0)	浅利英明(美浦)	95
16	⑯	マイショウハチコウ	牡 2	56	三浦皇成	%	9-9-7-7	36.4	506(+10)	133.0(4)	牧浦充義(栗東)	94



通過タイム : 600ドル 800ドル 1000ドル 上り : 800ドル 600ドル
35.5 - 48.5 - 1:01.3 47.4 - 35.2

アラカルト

- ・ 松山弘平騎手はホープフルS初勝利。JRA重賞は25年7勝目、通算55勝目
 - ・ 杉山晴紀調教師はホープフルS初勝利。JRA重賞は25年5勝目、通算26勝目
 - ・ ワールドプレミア産駒はJRA重賞初勝利。新種牡馬産駒による本競走制覇は23年レガレイラ(父スワーヴリチャード)に続く2回目(G1に昇格した17年以降)
 - ・ 京都競馬場デビューレースの勝利は初(G1に昇格した17年以降)
 - ・ 1戦1勝馬の勝利は初(17年以降)。また、1戦1勝馬のJRA・G1制覇は通算3回目(グレード制を導入した84年以降)

ロブチェン Lovcen

牡 黒鹿毛 2023.4.9生

北海道安平町 ノーザンファーム生産

馬主・フォレストレーシング 栗東・杉山晴紀厩舎

馬名意味・モンテネグロの山名

ワールドプレミア 黒鹿毛 2016		ソングライティングUSA系 F3-g	
ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA		
	ウインドインハーアIRE		
マンデラGER 栗毛 2000	Acatenango		
	Mandellich		
Giant's Causeway 栗毛 1997	Storm Cat		
	Mariah's Storm		
	Unbridled's Song		
Embur's Song 鹿毛 2007	Embur Sunshine		

5代までのインブリード: Northern Dancer S 5×M5

INTERVIEW

加我烈士厩舎長(ノーザンファーム早来)

2歳時にG Iを勝てるとは思いませんでした

父のワールドプレミアにも、騎乗スタッフだった頃に跨っています。ロブチェンは父とは違う乗り味の馬ですが、調教を進めるうちに芯が入ってきました。この成長力ならば父のように菊花賞で活躍できるのではと思っていたが、まさか2歳時にG Iを勝てるとは思いませんでした。折り合い面の不安もなく、緩かに解消されてくれれば、まだまだ強くなりそうです。



先導役を務めたテーオーアルアイン
産駒が無傷の戴冠を果たした。
2歳時にG Iを勝てるとは思いませんでした
父のワールドプレミアにも、騎乗スタッフだった頃に跨っています。ロブチェンは父とは違う乗り味の馬ですが、調教を進めるうちに芯が入ってきました。この成長力ならば父のように菊花賞で活躍できるのではと思っていたが、まさか2歳時にG Iを勝てるとは思いませんでした。折り合い面の不安もなく、緩かに解消されてくれれば、まだまだ強くなりそうです。

父ワールドプレミア

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央12戦4勝(菊花賞G I、天皇賞(春)

G I、若葉S・L2着、有馬記念G II 3着、神戸新聞杯G II 3着、日経賞G II 3着、京都2歳S G III 3着)、22年から供用

〔代表産駒〕ロブチェン(本馬)

母ソングライティングUSA

中央8戦0勝。15年輸入

(18 牡父ブラックタイド)

ブラックボイス(19 牡父ブラックタイド)中央16戦2勝(山吹賞2着)、障害

8戦3勝(④)

リックス(20 牡父キンシャサノキセキAUS)中央5戦0勝、地方13戦2勝

タイセイシンガー(21 牡父シユヴァルグラン)中央3戦0勝、地方1戦1勝

テーオーシュタイン(22 牡父ワールドエース)中央17戦1勝(④)

〔ロブチェン〕本馬(23 牡父ワールドプレミア)中央2戦2勝(ホープフルS G I)

獲得総賞金78,662,000円

(24 流産)

(25 牡父コパノリッキー)

祖母エンバーズソング Embur's Song

カナダ産 北米6勝(オンタリオメイトロンS・加G III、ヘンドリーS・加G III、ダブルドッグデアS・米G III、ウンドウードS・米L、シーウエイS・加G II 2着、バイソンシティS・加2着、ベッサラビアンS・加G III 3着)、加古牝馬チャンピオン

ソングライティングUSA(13 前出)

エンバーズジップ Embur's Zip(17 牡父City Zip)北米1勝

曾祖母エンバーサンシャイン Embur Sunshine

カナダ産 北米2勝(ブルースパークーS・米2着、キャンディエクレアS・米2着)

テンフラット Ten Flat(98 髑父Meadowlake)北米5勝(シルバーデピュテ

ィS・加L、スインフォードS・加G III 2着)

エンバトル Embattle(99 髑父Phone Trick)北米10勝(クイーンストーン

S・加2着、ジュベナイルS・加2着)

グローイングアンバー Glowing Amber(03 牡父Deputy Minister)阿0勝

アンバーパレス Amber Palace(喜望峰ナーサリーS・阿G II 2着)の母

ドーンレイド Dawn Raid(05 牡父Vindication)北米2勝、エグザジャレイタ

ー Exaggerator(ブリーケスS・米G I、サンタアニタダービー・米G I)の母

エンバーズソング Embur's Song(07 前出)

新たな一頁を刻んだ1戦1勝馬の勝利

G Iに昇格した2017年以降、原則的には「年間の最終開催日」に組まれてきたホープフルSだが、25年は有馬記念前日の土曜日に実施。有力視されていましたラヴェニユーが直前に回避し、混戦ムードが深まつたなか、未勝利戦、アイビースを連勝中のアンドウーリルSを差し切ったショウナンガルが1番人気の支持を集め、京都2歳Sが1番人気の支持を集め、京都2歳Sの覇者ジャステインビースタ、札幌2歳Sを豪快に差し切ったショウナンガルが、2戦2勝の重賞ウイナーがこれに続く勢力図が描かれた。とはいえ、勝利を飾ったのは7番人気の伏兵ロブチエン。1戦1勝のワールドプレミア産駒が無傷の戴冠を果たした。

迎えた直線、力尽きた逃げ馬に好位を追走してきた面々が襲い掛かり、坂の上りでは京都2歳Sの2着馬アスクエジンバラが先頭へ。これにフォルテインビースタも後方2番手につけ、反撃の機会を窺つた。

ロブチエンは抜群の決め手を披露。先に抜け出しをはかつた2頭を一気にかわしてゴールに飛び込んだ。

11月の初陣(京都・芝2000m)は重馬場での逃げ切り。勝ち時計も目立たず、注目度が低かったのも無理はない。本馬だが、この日は初戦とは勝手が異なる馬場と戦法にも難なく対応、「ギレる脚も持っていると思っていた」という松山騎手の感触通り、素晴らしい決め手を発揮して新種牡馬の父に大きなタイトルを贈った。G Iに昇格した17年以降、1戦1勝馬の勝利は初めて。晚成のステイヤーといった父の血筋からも、レースの歴史に新たな一頁を刻んだ2歳中距離王にはまだまだ「伸び」が見込める。

は2「コーナーから正面にかけてペースを緩め、レースは落ち着いた流れで進行。アンドウーリルは掛かり気味に好位の外、ロブチエンの松山弘平騎手は中団の内を進む。一方、ゲートで少し立ち遅れたショウナンガルフは後方馬群の外、出足がつかなかつたジャスティンビースタも後方2番手につけ、反撃の機会を窺つた。

迎えた直線、力尽きた逃げ馬に好位を追走してきた面々が襲い掛かり、坂の上りでは京都2歳Sの2着馬アスクエジンバラが先頭へ。これにフォルテインビースタも後方2番手につけ、反撃の機会を窺つた。

ロブチエンは抜群の決め手を披露。先に抜け出しをはかつた2頭を一気にかわしてゴールに飛び込んだ。

11月の初陣(京都・芝2000m)は重馬場での逃げ切り。勝ち時計も目立たず、注目度が低かったのも無理はない。本馬だが、この日は初戦とは勝手が異なる馬場と戦法にも難なく対応、「ギレる脚も持っていると思っていた」という松山騎手の感触通り、素晴らしい決め手を発揮して新種牡馬の父に大きなタイトルを贈った。G Iに昇格した17年以降、1戦1勝馬の勝利は初めて。晚成のステイヤーといった父の血筋からも、レースの歴史に新たな一頁を刻んだ2歳中距離王にはまだまだ「伸び」が見込める。